

試料・情報利用研究計画書(概要)

研究番号	2023-1018	利用形態	共同研究		
研究題目	慢性腎臓病合併認知機能低下とサルコペニアを評価する バイオマーカー探索		研究期間	2023年8月～2028年7月	
主たる研究機関	東北大学薬学研究科		責任者 氏名・職	佐藤 恵美子	准教授
分担研究機関	東北メディカル・メガバンク機構		責任者 氏名・職	元池 育子	准教授
研究目的と意義	本研究では、一般住民コホート対象者のメタボローム解析情報、検査情報および調査票情報を用いて、慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease, CKD)患者における合併症である(1)認知機能障害および(2)サルコペニアを予測できるバイオマーカーを特定します。				
研究計画概要	<p>(1) CKD合併認知機能障害バイオマーカー探索 東北メディカル・メガバンク機構のバイオバンクの脳MRI、認知心理機能のデータに紐付けされた一般住民コホートデータを利用し、代謝物、認知機能障害との相関解析・多変量解析を行います。</p> <p>(2) CKD合併サルコペニアバイオマーカー探索 東北メディカル・メガバンク機構のバイオバンクの体組成検査のデータに紐付けされた一般住民コホートデータを利用し、代謝物、体組成検査データとの相関解析・多変量解析を行います。</p> <p>上記の情報を用いて横断研究、縦断研究を行います。</p>				
利用試料・情報	<p>対象:東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査に参加(地域住民コホート及び三世代コホート)された方 試料:なし 情報:東北メディカル・メガバンク計画のベースライン調査および第2段階・第3段階調査期間における基本情報・特定健診情報・検体検査情報・服薬情報を含む調査票情報・生理機能検査情報・メタボローム情報・MRI検査情報・認知・心理機能検査情報</p>				
期待される成果	この研究ではCKD合併認知機能障害やサルコペニアに関与する代謝物の解析を行うため、代謝物解析結果よりCKD合併認知機能障害やサルコペニアの発症リスクについて予測でき、早期発見や予防的措置ができる可能性があります。				
倫理審査等の経過	2023年7月 東北大学大学院医学系研究科倫理委員会				
倫理面、セキュリティー面の配慮	本研究の解析は東北メディカル・メガバンク機構にあるスーパーコンピューターでのみ解析するため、外部へデータは持ち出さず、得られた統計解析結果のみ持ち出しを行います。				
その他特記事項	この研究は科学研究費助成事業により実施します。				
(事務局使用欄)	*公開日 2024年4月15日				